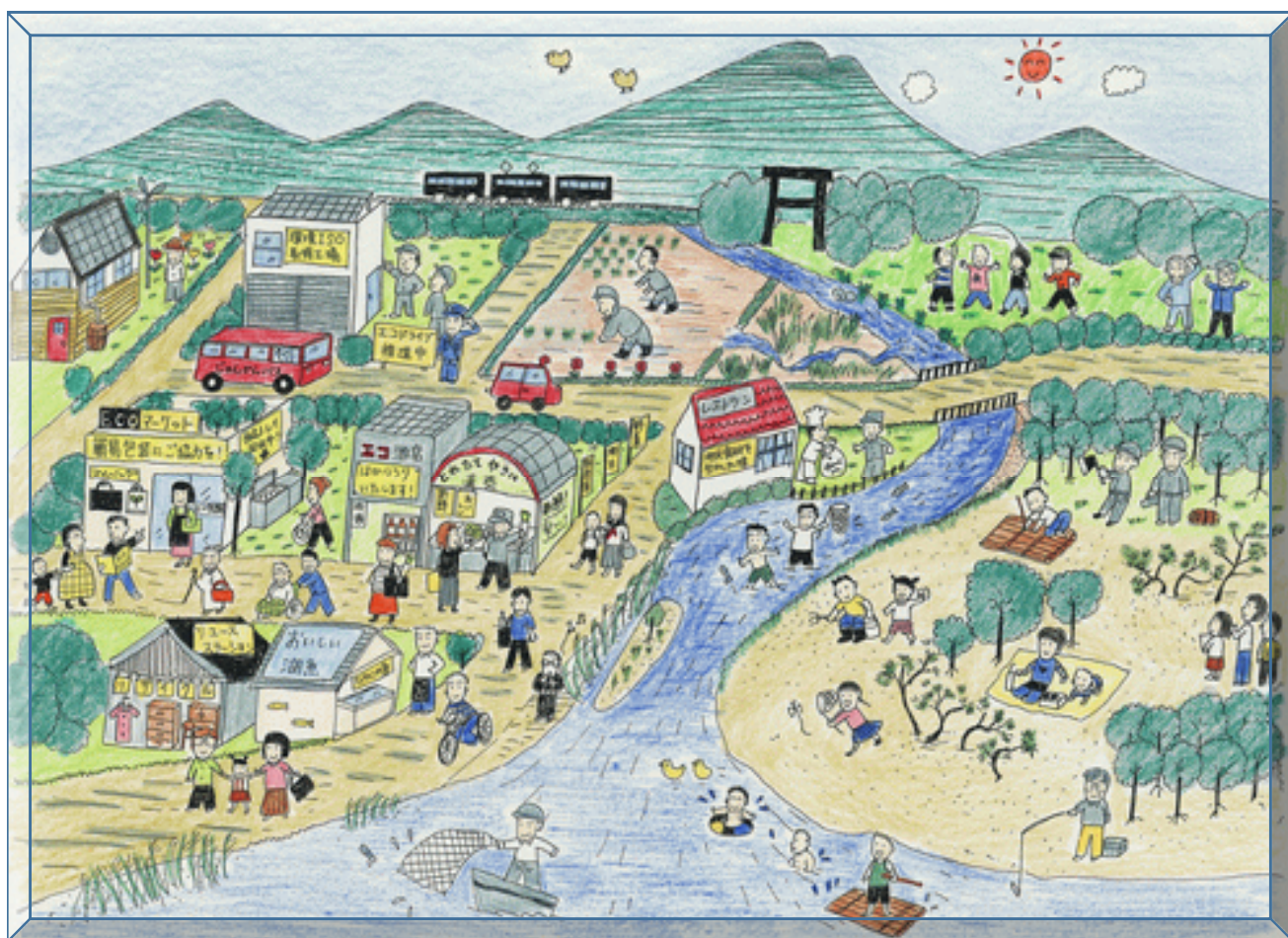


環境基本計画推進会議

「水と緑・安心の野洲」



平成 26 年度 通常総会 議案書



平成 26 年 4 月 25 日 (金)

14 : 00 ~ 16 : 00

市民活動支援センター(図書館) 大ホール

環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」

平成26年度 通常総会 次第

平成 26 年 4 月 25 日（金）14 時～

市民活動支援センター（図書館）大ホール

1. 開 会

2. あ い さ つ

3. ご来賓あいさつ

4. 講 演

「生物多様性について」

滋賀県立大学地域共生センター 特定プロジェクト研究員 北井 香 様
(2013年度 滋賀県生物多様性地域戦略ワーキンググループ「里山・里地・里湖」座長)

5. 議 事

- | | |
|---------|----------------------|
| 第 1 号議案 | 平成 25 年度 事業報告について |
| 第 2 号議案 | 平成 25 年度 収支決算について |
| 第 3 号議案 | 平成 26 年度 事業計画(案)について |
| 第 4 号議案 | 平成 26 年度 予算(案)について |
| 第 5 号議案 | 役員の改選(案)について |

6. そ の 他

7. 閉 会

第1号議案

平成 25 年度 事業報告

各部会の活動実績

平成25年度は、昨年度の活動を継続して行っていく中で、関係団体・組織との連携や活動の積極的な情報発信を通じて、プロジェクトの組織拡充と活動の参加を呼びかけた。

成果としては、学習会や啓発イベントを計206回開催し、延べ約5,600人の市民の参加を得ることができた。

また、ニュースレターの発行や愛称のロゴマークを作成、スタッフベストを作るなど、広報活動を通じて、学習会や啓発イベントの周知を行った。

自然部会は、昨年度から引き続き県のマザーレイク21計画との連携を図るなか、里山から川、緑地、田畑、そしてびわ湖までの一連の自然環境の保全をめざした活動を展開した。各プロジェクトにおける活動主体が中心となり、多くの市民に対してプロジェクトの趣旨を普及・啓発するとともに、野洲市の自然に親しむ機会を提供した。

エコ資源部会は、環境負荷の少ない循環型社会の構築に向けた仕組みづくりをめざし、市民参加によるプロジェクトの実践(廃食油の利用促進・リユースの促進)で、啓発講座の拡充を進めた。

また、生ごみの資源化やロケットストーブの有益性等の検討を進めた。

まち・くらし部会は、一人ひとりが身近な暮らしで実践できる環境に配慮した行動(レジ袋の使用削減、エコドライブ)を普及させるため、キャンペーンや講習会を開催し、ライフスタイルの転換を呼びかけた。

また、出前講座(人形劇・エコダンス)を通じた啓発講座の拡充に努めた。

運営委員会の開催

- | | |
|----------------------|-------------------------------------|
| 第 1 回 (平成 25 年 4 月) | 総会の内容について 等 |
| 第 2 回 (平成 25 年 6 月) | 活動報告、愛称及びスタッフベストについて 等 |
| 第 3 回 (平成 25 年 8 月) | 活動報告、水フォーラム、成果集について 等 |
| 第 4 回 (平成 25 年 10 月) | 活動及び予算執行状況について 等 |
| 第 5 回 (平成 25 年 12 月) | 活動報告、新クリーンセンター運営について 等 |
| 第 6 回 (平成 26 年 2 月) | 活動報告、次年度計画、第5回こなん水環境フォーラム
について 等 |

平成 25 年度 プロジェクト活動の実績

自然分野 【 自然部会 】

	概 要	回数	人数	プロジェクト名
川	家棟川エコ遊覧(※砂浜学習会含む)	27	678	・「おらが川」人が親しめる きれいな川づくり
	ホテルの住める川づくり	10	50	
	流域ネットワークづくり(「水フォーラム」の開催)	1	54	
	家棟川・びわ湖清掃活動	7	345	
	家棟川流域生態調査	21	242	
	小 計	66	1,369	
びわ湖	びわ湖に親しむイベント(あやめ浜まつり)	1	135	・琵琶湖を身近なものにしよう ・葦地帯をみんなで増やそう
	漁民の森づくり事業	1	86	
	びわ湖学習会・苗ポットづくり体験	3	312	
	ヨシ植えイベント	1	129	
	小 計	6	662	
緑	河辺林保全活動	44	564	・河辺林の再生 ・まちなかの緑ボリューム アップ大作戦 ・鎮守の森再生
	野洲川北流跡自然の森カブトムシ幼虫観察会	1	80	
	野洲川北流跡自然の森タケノコ堀イベント	1	50	
	野洲川北流跡自然の森秋の自然観察会	1	40	
	樹木の管理と剪定講習会	1	50	
	小 計	48	784	
農業	環境保全型農業研修会	1	25	・環境保全型農業推進計画
	生き物観察会	3	160	
	小 計	4	185	
里山	里山保全活動	31	393	・野洲の里山の自然に触れ よう、知ろう
	子どもや市民が里山に親しむ活動	9	315	
	「森づくり塾」4回連続講座※セミナー、補講含む	6	115	
	野洲山の辺の歴史ハイキングコースづくり	8	79	
	小 計	54	902	
分 野 (部 会) 小 計		178	3,902	

ごみ・資源分野 【 エコ・資源部会 】

	概 要	回数	人数	プロジェクト名
環境学習	出前講座(リサイクルペーパーアート)	8	148	・みんなで進める環境学習
廃食油	出前講座(エコキャンドルづくり)	6	165	・天ぷら油を捨てずにエネルギー(BDF)化しよう
リユース	リユースセンターでの物品無償譲渡会	2	65	・お得で楽しいリユースステーションをつくろう
分 野 (部 会) 小 計		16	378	

まち・くらし分野 【 まち・くらし部会 】

	概 要	回数	人数	プロジェクト名
ごみ減量	出前講座(人形劇・エコダンス)	7	464	・ごみを出さな売り方・買い方 が広がるまち
	マイバック持参、レジ袋削減啓発キャンペーン	1	18	
	小 計	8	482	
エコドライブ	エコドライブ講習会	1	13	・一人ひとりが自動車社会を 見直す「エコドライブ」活動
事業所 環境保全	環境研修会	2	39	・事業所環境保全取り組み向 上プロジェクト
分 野 (部 会) 小 計		11	534	

つながりプロジェクト

※人数は概算

	概 要	回数	人数	プロジェクト名
	収穫祭	1	800	・山・川・里・湖の『つながり』 再生プロジェクト
小 計		1	800	

合 計		206	5,614	
-----	--	-----	-------	--

※参考 平成19年度 32 回 1,445 人 平成22年度 95 回 3,692 人
平成20年度 66 回 1,901 人 平成23年度 124 回 4,015 人
平成21年度 111 回 3,888 人 平成24年度 149 回 4,890 人

自然分野 事業報告

1. プロジェクト : 『おらが川』人が親しめるきれいな川づくり

① 家棟川エコ遊覧の開催（4月～3月 27回実施 延べ678人参加）

市内コミセンの事業や市内自治会などと連携し、市内の河川の多くが流入する家棟川で手漕ぎの小型舟に乗り、豊かな生態系の観察を行う一方、河川の水質や散乱するごみの状況を直接実感する学習会を開催した。

② ホタルの住める川づくり（延べ10回 延べ50名参加）

市内7ヵ所でホタルの幼虫を飼育し川に放流したが、気候や周辺環境等の影響からか、残念ながらあまり成虫にならない結果となった。幼虫の放流に関しては、地域の子どもたちで行った。堤、野田、西河原、六条の自治会では川に砂利を入れ、ホタルの住める川づくりをした。

③ 流域ネットワークづくり（水フォーラムの開催 平成25年6月30日 54名参加）

水源の山から、森、里川、田畑そしてびわ湖まで、流域のそれぞれの場所で水環境の保全に取り組む団体や自治会、企業からの活動報告を通して、流域ネットワークを形成し、水環境保全への意識向上を図った。

④ 河川清掃活動（年間7回実施 延べ345名参加）

他の環境保全の市民団体や地域、企業などとも連携し、家棟川を中心に、あやめ浜、新川、童子川、中の池川など積極的な活動を実施した。生活ごみが多く流れてきているのが現状であり、テレビやタイヤ等の大型ごみの回収も行った。

⑤ 生態回廊の再生（年間21回実施 延べ242名参加）

琵琶湖環境科学研究センターの協力のもと、家棟川流域9ヶ所で生態調査を実施。貴重なタナゴなどの種が確認されている。また、遡上の確認できたビワマスを保護するため、県と連携し、産卵期の禁漁期間を啓発するのぼり旗を設置した。

⑥ 活動の評価

野洲市の山から琵琶湖まで、家棟川8ヶ所で生態調査を市民参加で実施し、ビワマスの遡上や屋形舟の運行で、市民の川への関心を取り戻し、生態回廊の再生をはかる「家棟川生態回廊再生を目指すネットワーク」として、滋賀県知事より生物多様性大賞を受賞した。

2. プロジェクト : 野洲の里山の自然に触れよう、知ろう

山の木を活用し、市民の手で野洲の山を守ろう

① 里山・林道の保全作業および山を知る探索 (31回実施 延べ393人参加)

地元生産森林組合と連携し、定期的(毎月第1、4土曜日・第3火曜日)に里山保全活動として山の林道や周辺整備・登山道整備などを実施した。また「野洲の山を知る探索」ではレスキュー杭・道標の管理点検を行いながら、野洲の山の現状や季節ごとに変化する里山を体感した。そして自然や歴史の跡を子どもや市民に伝える「里山案内人」になろうという思いを強くした。主な内容は以下のとおり。

- 山の林道や周辺整備
- 城山の主郭草刈り
- 歴史の道や林道整備
- 登山道の整備・復元
- 登山道への案内板(道標、レスキュー杭)の整備・点検

② 子どもや市民が里山に親しむ活動 (9回〔下見等含む〕実施 延べ315人参加)

市民や子どもたちに地元の山の現状や素晴らしさを伝え、里山の自然の大切さ、重要性について理解を深めてもらった。篠原小学校の「全校生徒の縦割り授業」で伊勢道峠越えを案内するイベントは4年目を迎え、学校の恒例事業となり、生徒・先生・保護者たちに近くの山の素晴らしさを再認識していただいている。

- i タムシバ山から城山 花登山 (平成25年4月8日13人参加申込)備考: 荒天中止
- ii 篠原小学校「伊勢道峠越え」案内(平成25年5月1日199人参加)
- iii 鳴谷 ハルリンドウを見る (平成25年5月7日10人参加)備考: タムシバ山登山代行
- iv 野洲シニア百足会 城山案内 (平成25年5月24日9人参加)
- v 家棟川生き物しらべ (平成25年8月3日13人参加)備考: 自然部会(川)共同
- vi 収穫祭 農山漁村活性化推進協議会(平成25年8月16日13人参加)備考: 山部会PR
- vii 紅葉の三上山～東光寺登山 (平成25年11月23日22人参加)
- viii 城山山頂から初日の出を見る(平成26年1月1日31人参加)備考: 小堤生産森林組合主催

③ 森づくり塾の実施 (4回および補講・セミナー実施 延べ115人参加)

山部会員や市民が山作業の仕方や生き物・山の魅力・里山の歴史について実習・学習し、里山案内人としての技量や知識を深めるために実施。今年度は3期目でテーマは『「里山の自然案内人」になろう』。

- 1回目 道具の手入れ・砥石の使い方 (平成25年5月26日21人参加)
- 2回目 基礎から学ぶ山登り (平成25年6月30日19人参加)
- 3回目 里山の自然に親しむ (平成25年10月6日19人参加)
- 4回目 里山の歴史・大篠原夕陽丘の遺跡 (平成25年12月1日26人参加)
- 補講 森を知る (平成26年1月18日16人参加)
- ネイチャーゲームセミナー (平成25年11月10日14人参加)

④ 野洲山の辺の歴史ハイキングコースづくり(8回 延べ79人参加)

御上神社から大篠原までの山裾に散らばる歴史遺産と自然をめぐるハイキングコースを作ろうと8回のコース探索を実施した。

3. プロジェクト : 琵琶湖を身近なものにしよう

① 家棟川エコ遊覧・湖魚の伝統食・砂浜学習会の開催 (平成25年5月25日 43人参加)

エコ遊覧船に乗って川の話や環境の話をしなが、約1時間エコ遊覧を楽しんでいただいた。その後、あやめ浜へ移動し砂浜で、湖魚の伝統食を食べ湖魚について講和を聞き、学習会では、家棟川や野田沼の歴史の話聞き学んだ。参加者には大変喜んでいただけた。

② あやめ浜まつりの開催 (平成25年8月19日 135人参加)

毎年恒例となっているイベントであり、クルージング体験であやめ港から沖ノ島周辺を遊覧し、あやめ浜でのシジミ採り体験やびわ湖の食文化体験など、びわ湖に親しみながら、びわ湖について学ぶことで、水環境の保全意識の高揚を図る啓発イベントを開催した。

③ 漁民の森づくり事業の実施(平成26年3月23日 86人参加)

びわ湖の水の源を守るために、漁業関係者や生産森林組合と協力し、団体・企業などの参加のもと、水源となる山(大篠原地先)の植樹整備を実施した。

4. プロジェクト : 葦地帯をみんなで増やそう

① びわ湖の学習会とヨシ苗づくりの実施(中主小5年生対象 延べ312人)

水資源機構、淡海環境保全財団と連携し、中主小学校5年生を対象にした環境学習の一環として、びわ湖とヨシについての学習会を行い、学校の中庭にある池でヨシ苗の育苗を行った。また今年度は秋に育苗したヨシをびわ湖の浜へ植栽するところまで行った。

1回目 びわ湖環境学習 (平成25年6月17日 140人参加)

2回目 ヨシ苗ポットづくり、育苗(平成25年7月8日 140人参加)

3回目 ヨシ植栽(150株) (平成25年11月6日 32人参加〔中主小5年4組〕)

② ヨシの植栽イベントの開催 (平成25年11月2日 129人参加)

地元自治会を始め、各種団体や企業などと連携し、ヨシの植栽を行う市民参加型イベントを開催した。台風18号の影響部分を補植するため、ポット苗812株、マット苗82枚、計1,880㎡の植栽を行った。同時にびわ湖岸の景観を保全するため、松林の保全(浜草刈作業)を行った。

5. プロジェクト : まちなかの緑ボリュームアップ大作戦

河辺林の再生

鎮守の森再生

① 河辺林の保全活動 (44回実施 延べ564人参加)

野洲川河辺林(野洲川北流跡自然の森)について、毎月第1火曜日、第3土曜日および第4木曜日の定例活動、そしてイベント前の臨時活動日にて保全活動を実施。

主な保全活動としては、中堤防散策路が通行できるよう竹林伐採の整備や丸太橋の架設を行ったほか、実生ひろば・第二ひろばを中心とした実生育成のための草刈を行った。

② 河辺林での自然林学習イベント (3回実施 延べ170人参加)

➢ カブトムシ幼虫観察会 (平成25年5月28日 80人参加)

北野小学校3年生を対象に、野洲川北流跡自然の森にて、カブトムシの幼虫観察会を実施。森の中を散策しての自然体験活動をした。

➢ タケノコ掘りイベント (平成25年6月8日 50人参加)

小学生以下とその保護者を対象に、タケノコ掘りをして身近な河辺林の自然の恵みを体感でき、焼きタケノコが大好評であった。

➢ 秋の自然観察会 (平成25年11月16日 40人参加)

幼稚園年長、小学生対象で「自然と遊ぼう」をテーマに、火起こし、ドングリのヤジロベエ作り、マイ箸などの竹細工を体験し、また焼き芋も味わい、楽しみながらの自然観察会となった。

③ 滋賀県立大学との協働活動

エコキャンパスチームは平成25年度も種子散布を中心に生態調査活動を行っており、秋の自然観察会では森の案内を協力してくれた。

④ 公共施設の緑化

市民活動団体(レイカ野洲)と協働で野洲図書館敷地の土壌改良や倒木の立直し、伐採整備を行った。またさざなみホール敷地内の樹木の根元に土を追加、育成した。さらに提言として野洲駅南口の景観・緑化を継続して行っている、

⑤ 鎮守の森の保全

市内の主な神社を社叢学会(鎮守の森を学術的に研究するNPO法人)に調査いただき、現状の把握と今後の対応について提言をいただいた。

⑥ 緑化のための研修・啓蒙

樹木医を講師として、自治会関係者および一般参加者を対象に、樹木管理の基礎と剪定講習会を実施。当初予定していた日程は雨天のため、実技講習は延期して実施した。

➢ 樹木の管理と剪定講習会 (平成26年3月21日、4月5日 50人参加)

6. プロジェクト ： 環境保全型農業推進計画

① 魚のゆりかご水田事業の啓発

魚道を整備し生態系に配慮することにより、びわ湖から遡上するフナやナマズなどを水田で育てる減農薬栽培を4地区(安治、須原、吉川、堤)で実施した。

面積は、安治:2,130a、須原:730a、吉川:310a、堤:420aの合計:3,590a。

➤ 生き物観察会の実施(各地区で実施) (延べ3回、延べ160人参加)

子どもを対象に、水田で孵化したフナやナマズなどの観察会を実施することで、田んぼで生きものが安心して暮らせることを実体験を通じて学習した。

➤ 魚のゆりかご水田米の普及啓発

JA等と連携して、収穫感謝祭にて「魚のゆりかご水田米」のPRを行った。

② 環境保全型農業研修会

無農薬有機栽培や自然栽培(無施肥・無農薬栽培)の米づくりを行う研修会を開催し、環境保全型農業の普及啓発を行った。(平成26年2月25日 25人参加)

なお、平成25年度における市内の無農薬有機栽培面積は2,166a。

(平成25年度環境保全型農業直接支払交付金の状況より)

エコ・資源分野 事業報告

1. プロジェクト : みんなで進める環境学習

① 環境学習会の実施

出前講座のリサイクルペーパーアートは好評で、古紙を利用し環境意識を高める啓発となった。参加者からは大変好評を得ている。

- リサイクルペーパーアート 市内自治会館、図書館等
(7月～2月 8回実施 延べ148人参加)

2. プロジェクト : 生ごみ資源化システムづくり

① 生ごみ減量に向けた取り組み

家庭で出来る生ごみの堆肥化や減量化について、検討を図るべくモニター(10人)を依頼している市民からの情報収集を行った。

3. プロジェクト : てんぷら油を捨てずにエネルギー(BDF)化しよう

① 使用済み(期限切れ)てんぷら油の回収

市民団体エコロジーマーケットやすの会と連携し、毎月第4土曜日に回収。また市の回収BOXで使用済みてんぷら油の回収も実施した。

- 回収量 (合計 5,310 L : 昨年度 5,105L)
 - ・ エコロジーマーケットやすの会 1,550 リットル
 - ・ 野洲市回収BOX(市内12箇所) 3,760 リットル

② エコキャンドルづくり講座の実施 (6回実施 165人参加)

使用済みてんぷら油の回収、資源化を啓発するため楽しく学べるエコキャンドルづくりの出前講座をふれあいサロンや自治会館などで実施した。

4. プロジェクト ： お得で楽しいリユースステーションをつくろう

① リユースセンターでの無償譲渡会実施

粗大ごみや陶器類等の有効利用を促進するため、リユース無償譲渡会を市と連携し実施した。また、より効率的な運営方法について協議し、陳列棚等の整備を行った。

さらに、新クリーンセンターの施設整備計画で、リユース機能を有した施設を設計予定していることから、その検討を開始した。

➤ 譲渡会の実績

(平成25年5月26日開催分 31人参加)

出品数	成立数	譲渡率	その他
34点	20点	58.8%	陶磁器、小物等多数譲渡

(平成25年11月10日開催分 34人参加)

出品数	成立数	譲渡率	その他
42点	15点	35.7%	陶磁器、小物等多数譲渡

② 先進地への視察 (平成25年9月6日 11人参加)

ごみの減量、再資源化および再生利用を図り、快適な生活環境づくりと循環型社会を形成するため、市民のリサイクル活動を推進する拠点施設で、ごみの再利用、啓発、研究のための施設である、兵庫県川西市にある「国崎クリーンセンター啓発施設ゆめほたる」および大阪府吹田市にある「くるくるプラザ(資源リサイクルセンター)」の先進地へ、野洲市クリーンセンター職員とともに視察した。

まち・くらし分野 事業報告

1. プロジェクト : ごみを出さない売り方・買い方が広がるまち

① ごみを減らそう出前講座の実施

野洲市を背景にした舞台セットで、子どもたちにもわかりやすく学べる環境啓発人形劇を、出前講座として小学校や自治会、各団体を対象に実施した。また出前講座時には人形劇のみだけでなく、ごみ減量・分別クイズを実施するなど、ごみ減量の啓発を行った。

レジ袋削減・マイバッグ持参推進キャンペーンでは、滋賀県と連携し3R推進月間の10月にあわせて、スーパー店頭でマイバッグ持参の呼びかけを行った。またキャンペーンに先立ち市内小売業者43店舗と各自治会・コミセン等に啓発ポスターの掲示を依頼した。

➤ 出前講座及びキャンペーンの実績

実施日	会場	参加者	内容
平成 25 年 6 月 9 日	やすまる広場	やすまる広場来場者 60名	啓発人形劇・エコダンス
9 月 10 日	祇王小学校	4年生 100名	啓発人形劇・エコダンス エコクイズ
9 月 20 日	中主デイサービスセンター	センター利用者 34名	啓発人形劇・エコダンス エコクイズ
10 月 22 日	健康福祉センター	センター利用者 30名	啓発人形劇・エコダンス エコクイズ
10 月 30 日	市内4店舗	買い物客 啓発ティッシュ 800個配布	マイバッグ持参啓発
平成 26 年 1 月 21 日	南桜農事集会所	南桜老人会 80名	啓発人形劇・エコダンス
1 月 31 日	安治自治会館	安治ふれあいサロン 60名	啓発人形劇・エコダンス
3 月 1 日	市民活動支援センター	こなん水環境フォーラム 100名	啓発人形劇
出前講座 合計	7会場	464名	啓発人形劇が中心

② 先進地への視察 (平成25年11月26日 延べ11人参加)

3R(廃棄物等の発生抑制[Reduce]、再使用[Reuse]、再生利用[Recycle])の推進に関する理解を深め、循環型社会の形成に向けた取組がなされている大阪府吹田市にある「くるくるプラザ(資源リサイクルセンター)」での先進地視察を実施した。

2. プロジェクト : 一人ひとりが自動車社会を見直す『エコドライブ』活動

① エコドライブセミナーの開催（平成26年3月13日 13人参加）

交通分野での温室効果ガス削減を目的に、省エネ運転を実践するエコドライブの普及を図るため、市民・市内勤務の方を対象にエコドライブセミナーを実施した。また、エコドライブを行う必要性を深く理解していただくため、地球温暖化防止についての講習を事前に実施した。

3. プロジェクト : 事業所環境保全取り組み向上プロジェクト

① 環境研修会の開催（平成26年10月1日 22人参加／平成26年2月25日 17人参加）

湖南・甲賀環境協会、野洲工業会および野洲市環境保全協定締結事業所等を対象に、事業所における環境保全への取り組みに関する研修を実施した。研修内容は「騒音／振動規制法と騒音等の測定方法について」と題して、10月には「騒音」、2月には「振動」をテーマとした実技研修会を実施した。

山・川・里・湖の「つながり」再生プロジェクト 事業報告

1. プロジェクト : 山・川・里・湖の『つながり』再生プロジェクト

収穫祭の開催（平成25年11月16日 800名参加）

野洲市農山漁村活性化推進協議会に参画し、「つながり」再生プロジェクトの企画イベントとして収穫祭を開催し、山・川・里・湖の地産地消を図った。

緑のカーテン 事業報告

1. プロジェクト : 緑のカーテンプロジェクト

省エネルギー対策として、野洲市役所や市民活動支援センター等の公共施設において、ゴーヤ栽培における緑のカーテンを実施。育った実は市役所玄関で配布し好評を得た。

第2号議案

平成 25 年度 収支決算報告

(収入)

単位：円

科目	当初予算額	補正予算額	予算現額	決算額	差引き	備 考
会 費	127,000	0	127,000	122,000	△ 5,000	個 人 100 (過年度分 4) 市民団体 20 (過年度分 0) 自治会 18 (過年度分 0) 企 業 15 (過年度分 1)
補 助 金	1,711,000	0	1,711,000	1,711,000	0	野洲市 (環境基本計画推進事業補助金)
受 託 金	0	0	0	0	0	
寄 付 金	0	0	0	2,000	2,000	出前講座お礼
繰 越 金	347,252	0	347,252	347,252	0	前年度繰越金
雑 入	6,000	0	6,000	5,039	△ 961	預金利子 出前講座材料負担金等
合 計	2,191,252	0	2,191,252	2,187,291	△ 3,961	

(支出)

単位：円

科目	当初予算額	補正予算額	予算現額	決算額	差引き	備 考
事 業 費	1,712,000	0	1,712,000	1,549,593	162,407	自 然 部 会 1,007,862 円 エコ資源部会 279,385 円 まち・くらし部会 256,245 円 緑のカーテン 6,101 円
受託事業	0	0	0	0	0	
事 務 費	450,000	0	450,000	384,743	65,257	
予 備 費	29,252	0	29,252	0	29,252	
合 計	2,191,252	0	2,191,252	1,934,336	256,916	

平成 25 年度 収支決算の結果

収入決算額 2,187,291 円

支出決算額 1,934,336 円

収支差引き額 252,955 円

収支決算による差引き額 **252,955** 円は、平成 26 年度に繰越する。

平成 25 年度 環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」

会計監査報告

監査結果

平成 25 年度環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」の収支決算について監査を行った結果、帳簿の記載および領収書等の関係書類はいずれも適正に処理され、決算金額は正確であったので報告します。

平成 26 年 4 月 22 日

監 事 _____ (印)

平成 26 年 4 月 22 日

監 事 _____ (印)

第3号議案

平成 26 年度 事業計画（案）

各部会の活動方針

昨年度の活動を継続して行っていく中で、未実施であるプロジェクトへの取り組み計画を検討し、関係団体・組織との連携や活動の積極的な情報発信を通じて、プロジェクトの組織拡充と活動の成果をめざす。

また、より市民が参加できる仕組みの構築を検討し、会員をはじめ環境保全活動の実践者との連携を図っていく。

自然部会は、県のマザーレイク21計画とも引き続き連携を図り、里山から川、緑地、田畑、そしてびわ湖までの一連の自然環境の保全をめざした活動を展開することで、多くの市民に対してプロジェクトの趣旨を普及啓発するとともに、自然環境を軸とした地元産業の活性化をめざす。

エコ資源部会は、環境負荷の少ない循環型社会の構築に向けた仕組みづくりを行うため、市民が楽しみながら参加できるプロジェクトの実践を進める。またリユースセンターの効率的な運営や資源の有効活用等検討し、出前講座による啓発活動にも力を入れていく。

まち・くらし部会は、一人ひとりが身近な暮らしで実践できる環境に配慮した行動（レジ袋の使用削減、エコドライブ）を普及させるため、事業者や他の関係団体と連携した仕組みを構築することで活動の成果をめざし、市内小学校等への出前講座も積極的に実施する。

自然分野 事業計画

1. プロジェクト : 『おらが川』人が親しめるきれいな川づくり

予算 250 千円

- ① 家棟川エコ遊覧(櫓漕ぎ体験、自然観察学習船)の運航(4月～3月予定)
- ② ホタルの住める川づくり
- ③ 里山・森・川・田畑・びわ湖の「水」フォーラムの開催(6月予定)
- ④ 河川清掃活動
- ⑤ 家棟川流域の生態調査

2. プロジェクト : 野洲の里山の自然に触れよう、知ろう

**野洲の自然を次世代につなぐ「自然案内人」を増やそう
山の木を活用し、市民の手で野洲の山を守ろう**

予算 180 千円

- ① 里山・林道の保全作業、間伐材の活用、歴史の道や場所の保全
山作業 第1土曜日(定例山作業) 第3火曜日(平日山作業)
第4土曜日(野洲の山を知る探索)
- ② 子どもや市民が里山に親しむ活動
春 (4月6日) 春のタムシバ山 花登山
(5月予定) 篠原小学校 伊勢道峠越え案内
夏 子ども向け「里山の自然の中で冒険する」催し
秋 里山で「秋の実りを楽しむ」催し
やすまる広場や水フォーラム等のイベントを通して、山部会の活動や趣旨をアピールする。
- ③ 第4期「森づくり塾」の開催
 - i (4月20日) 「春の里山の自然を楽しもう—山野草を食べよう」
 - ii (6月中旬～7月上旬) 「間伐および枝打ち実習と道具の手入れ法」
 - iii (10月5日) 「郷土の歴史を学ぼう—三上騒動(天保一揆)と御上神社」
 - iv (12月14日) 「山地図の読み方学習と応急手当」
- ④ 他団体やプロジェクトとの共同活動を進め、また交流も深め、市民の参加を増やしていく。
- ⑤ 「野洲山の辺の歴史ハイキングコースづくり」を引き続き行い、完成を目指す。

3. プロジェクト : 琵琶湖を身近なものにしよう

予算 220 千円

- ① 家棟川エコ遊覧、湖魚食の試食、砂浜学習の開 (5月17日)
- ② あやめ浜まつりの開催 (8月予定)
- ③ びわ湖の水源地となる里山への植樹活動 (冬予定)

4. プロジェクト : 葦地帯をみんなで増やそう

予算 260 千円

- ① 中主小学校でのヨシ苗の栽培などを通じた環境学習の実施(6月予定)
- ② 市民参加によるヨシ群落の保全を実施 (秋冬予定)
- ③ 県の自然再生事業と連携し、ヨシ群落再生の工法などを検討

5. プロジェクト : まちなかの緑ボリュームアップ大作戦
河辺林の再生
鎮守の森再生

予算 150 千円

- ① 野洲川河辺林(自然林)の保護育成
(毎月第1火曜日、第3土曜日および第4木曜日の定例)
- ② 河辺林での自然林学習イベントの開催
- ③ 市内の緑化推進、啓発
- ④ 鎮守の森の再生
- ⑤ 樹木の管理講習会の実施

6. プロジェクト : 環境保全型農業推進計画

予算 20 千円

- ① 魚のゆりかご水田事業の啓発

エコ・資源分野 事業計画

1. プロジェクト : みんなで進める環境学習

予算 50 千円

① 市民を対象とした環境学習会を実施

- i 古紙を使った「リサイクルペーパーアート」の出前講座の実施
- ii DVDやクイズを使った「温暖化防止学習」の検討

2. プロジェクト : 生ごみ資源化システムづくり

予算 50 千円

① 生ごみ堆肥化への検討

- 家庭で手軽にできる「生ごみ堆肥化」情報収集
- 生ごみ減量に向けての検討

3. プロジェクト : てんぷら油を捨てずにエネルギー(BDF)化しよう

予算 50 千円

- ① 市民団体「エコロジーマーケットやすの会」と連携し回収方法の検討を行う。
- ② 廃食油のリサイクルを楽しむ・使う方法を紹介し、啓発を行う。
 - 廃食油を使った「エコキャンドルづくり」の出前講座の実施

4. プロジェクト : お得で楽しいリユースステーションをつくろう

予算 150 千円

- ① リユース品の提供と展示譲渡会への参加を呼びかける
- ② リユースセンター(旧野洲市商工会施設)の整備を進め、展示譲渡会の充実を図る。
- ③ 自転車やおもちゃなどの整備の応援要員の募集とリユース展示品目の拡大を検討する。

まち・くらし分野 事業計画

1. プロジェクト : ごみを出さない売り方・買い方が広がるまち

予算 200 千円

- ① マイバッグ持参推進活動(キャンペーンの実施)
- ② ごみ減量の重要性を広く市民に啓発(出前講座の実施)
- ③ 地産地消、グリーン購入の啓発活動
- ④ ごみ分別マナーの啓発
- ⑤ 環境啓発人形劇3作目オリジナル作品に向けての取り組み
- ⑥ 学習会・視察研修の実施

2. プロジェクト : 一人ひとりが自動車社会を見直す『エコドライブ』活動

予算 100 千円

- ① エコドライブ講習会の開催
- ② 市民や市内事業所へのエコドライブの重要性の啓発

3. プロジェクト : 事業所環境保全取り組み向上プロジェクト

予算 20 千円

- ① 環境研修会の開催
 - 市内事業所を対象に、環境関連法令の制定・改正や環境管理の技術等を理解し、事業所等地域環境の環境保全に積極的に取り組んでいただくことを目的に実施する。

山・川・里・湖の「つながり」再生 事業計画

予算 0 千円

1. 山・川・里・湖の『つながり』再生事業

- ① 地産地消の啓発推進
 - 農山漁村活性化推進協議会に参画し、つながりイベント(収穫祭)での啓発。

緑のカーテン 事業計画

予算 5 千円

1. 緑のカーテン事業

- ① 地球温暖化対策に資する省エネルギー化を目的に、緑のカーテンを普及啓発する。

第4号議案

平成 26 年度 予算 (案)

(収入)

単位：円

科目	当初予算額	前年度当初予算額	差引き	備 考
会 費	123,000	127,000	△ 4,000	個人 @ 500 × 106 人 市民団体 @ 1,000 × 21 団体 自治会 @ 1,000 × 19 団体 企業 @ 2,000 × 15 社
補 助 金	1,711,000	1,711,000	0	野洲市 (環境基本計画推進事業補助金)
繰 越 金	252,955	347,252	△ 94,297	前年度繰越金
雑 入	6,000	6,000	0	預金利子 出前講座材料負担金 等
合 計	2,092,955	2,191,252	△ 98,297	

(支出)

単位：円

科目	当初予算額	前年度当初予算額	差引き	備 考
事 業 費	1,705,000	1,712,000	△ 7,000	自 然 部 会 1,080,000 円 エコ資源部会 300,000 円 まち・くらし部会 320,000 円 緑のカーテン 5,000 円
事 務 費	385,000	450,000	△ 65,000	通 信 運 搬 費 100,000 円 備 品 購 入 費 100,000 円 消 耗 品 費 185,000 円
予 備 費	2,955	29,252	△ 26,297	
合 計	2,092,955	2,191,252	△ 98,297	

第5号議案

役員の改選について(案)

規約第8条の規定に基づき、任期満了に伴う役員改選を行う。

任期は3年(平成29年3月まで)とする。

役員一覧

代 表		松沢 松治
副代表		飯田 百合子
運 営 委 員	自然部会	北出 肇
		政本 幸三
	エコ・資源部会	中根 隆男
		増村 和美
	まち・くらし部会	水島 左知子
		藤井 繁子
	環境教育	鎌田 忠則
会計監事		中塚 勝
		橋本 弥寿雄